

外部経験を生かして活躍する職員（民間企業派遣）



広松 賢斗

最高裁判所
事務総局人事局総務課主任
(H26採用)

略歴
H26 福岡地方裁判所事務官(採用)
H28 福岡地方裁判所書記官
R2 民間企業に派遣
R3 現職

視野を広げる

私は、裁判所職員としての視野を広げるため、民間企業の人事部に1年間派遣され、主に社員向け研修の企画・実施を行いました。そこでは、仕事のスピード感や経営ビジョンの重要性など、民間企業ならではの働き方を肌で感じることができました。

経営人材を育成するためには？

私が担当した中で、最も印象に残っている研修は、経営人材を育成するために行う選抜研修です。経営人材を育成するためにはどんな研修にするべきか？コロナ禍での最適な研修のあり方等も考慮した上で、社員の皆さんと何度も相談しながら、企画・実施を行いました。この研修企画の仕事を通じて、挑戦し続けることや目的意識の重要性を再認識するとともに、現場への想像力、折衝力、実行力などが養われたと感じています。

本質を取り入れる

現在、私は、主に給与制度の設計や各裁判所に人材を配置するためのポスト整備等の仕事をしています。国家公務員は、定年の引上げを控えており、給与制度も大きな転換点を迎えています。給与制度は、職員の職務と責任に応じて正当な報酬で報いるためにあるものと考えていますが、全国2万人を超



える職員全体にとって最適な給与制度となるよう設計することは、困難なミッションです。しかし、それと同時に、新しいことに挑戦できる喜びと、その機会を与えてもらったことに感謝しています。また、ポスト整備については、現場の声を聴きつつ、裁判所を代表して外部機関とのやり取りを行った上で実行しています。民間企業は、裁判所とは異なる側面も多くあり、経験や学びをそのまま還元できるわけではありませんが、視野を広げ、目的の達成に挑戦し続けるといった出向先で学んだ仕事の本質を取り入れて、裁判所版にアレンジしていくことは、今の仕事に役立っていると感じています。皆さんも司法の未来を考えるとというやりがいのある仕事と一緒に挑戦してみませんか。

外部経験を生かして活躍する職員（在外研究）



竹腰 愛美

最高裁判所 事務総局秘書課係長
(H24採用)

略歴
H24 名古屋家庭裁判所家庭裁判所調査官補(採用)
H29 神戸家庭裁判所尼崎支部家庭裁判所調査官
H31 在外研究
R3 現職

To be sincere to the court users.

裁判所を利用する人々に真摯に向き合うこと

家裁調査官は、少年事件や家事事件において調査を行います。その中には依存症、DVなど、複雑な状況に関わることが多くあります。外国では、そのような問題にどう対応しているのか気になっていました。こうした疑問を整理できるかもしれないと考えて在外研究制度に応募し、オーストラリア国立大学に1年間派遣され、研究を行うことになりました。

大学では、講義を受ける傍ら、客員研究員としてオフィスや資料へのアクセス等の研究環境を整えていただきました。また、オーストラリア国内各地に赴き、法曹、家裁調査官と似た役割の専門職等へのインタビューや、各種プログラムの見学もできました。学会で知り合った専門家や訪問先の職員と一緒に食事に出かけるといった機会もあり、日豪の司法制度の違いや課題、またオーストラリアでの生活などについて率直に話すことができました。こうした在外研究ならではの方法で司法制度を学ぶ機会は、とても刺激的なものでした。

冒頭に挙げた問題意識については、滞在中、被告人の更生支援のプログラムを提供する、薬物裁判所などに代表される問題解決型司法の仕組みに興味を持ちました。薬物裁判所では、裁判所が、治療プログラムを被告人に課し、その進行について定期的に確認することとなります。担当裁判官は、裁判所は、量刑を課す権威であることを忘れてはならないが、プログラムへの動機づけを行うこととのバランスが重要であり、裁判官をはじめ、関係者の態度が結果に大きく影響しうるとお話しされていました。

オーストラリアでは、法曹や裁判所職員など「人」が裁判所の利用者を与える影響が目立っており、また、司法分野で働く人々の心の健康の問題も大きく取り上げられていました。難しい問題に対処する仕事だからこそ、その中で働く「人」が重要であることに改めて気付かされましたし、私自身も仕事において利用者に真摯に向き合いたいと実感しました。現在は、最高裁判所秘書課の渉外第一係で、外国法曹の受入れや、オンライン講演会等を運営する仕事に携わっています。在外研究で得た一番大きい知見は、日本や自らの裁判所職員としての役割を客観的に見つめる視点を得たことだと思います。その経験は、国際交流に関連する今の仕事でも活かしていると思います。皆さんにも、こうした視野を広げる機会に興味を持ってもらえたら嬉しく思います。一緒に働けるときを楽しみにしています。

